製品には万全を期しておりますが、
お気づきの点がございましたらラッキー工業までご連絡ください。

日本で一番長い歴史をもつ　抱っこひも・おんぶひもメーカー

ラッキー工業株式会社

本社：503-2423 岐阜県揖斐郡池田町青柳83-8
Tel：0585-45-7425
HP：http://www.lucky-baby.co.jp/

直営店：ラッキーベイビーストア自由が丘店
東京都世田谷区奥沢2-37-7-102
電話番号　03-5726-8326

TC00009
NP17-04

SINCE 1934 JAPAN

～日本で一番長い歴史をもつ　抱っこひも・おんぶひもメーカー～

まるスリング
Maru Baby Sling

使用月齢

対面抱っこ：生後10日から（かつ体重約3.2kg）～ 24ヵ月（体重13kg）

腰抱っこ　：腰がすわってから（7カ月頃）～ 36ヵ月（体重15kg）

ご使用になる前に、取り扱い説明書を正しくお使いください。
また、取り扱い説明書（本書）は必ず保管してください。
本製品を他のお客様にお譲りになるときには、必ず取り扱い説明書もあわせてお渡しください。

材料・部材は十分に選別しておりますが、主なる素材が繊維であるため、
使用頻度にもよりますがお使い始めてから約３年を耐用年数とお考えください。

INTERNATIONAL HIP DYSPLASIA INSTITUTE

この機関は股関節脱臼の研究・防止に取り組む国際機関です。
Maru-sling は同機関から認証された抱っこひもです。

”魔法の布”　スリング

スリングは”魔法の布”と言われています。

赤ちゃんは、スリングに包まれることによって、
ママのお腹にいた時と同じような安心感を感じます。

肌と肌が触れ合うことで精神的に穏やかな状態になり、
赤ちゃんの呼吸や体温、心拍数などが安定します。

一枚の布で赤ちゃんとパパ・ママを優しく包み込むスリングは、
一般的な抱っこひもよりも密着性に優れています。

スリングは、ママと赤ちゃんが快適につながることを可能にする
便利な子育て道具。

ママと赤ちゃんの強い絆を育みます。

100kgの重さに耐えることのできる
高品質ナイロンリング

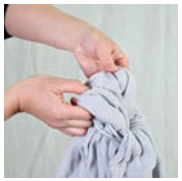
テール部分。
新生児の赤ちゃんを抱っこする際は、お首のサポートとしてお使い頂けます。
（6-7ページ：対面抱っこをご覧ください。）
スリングを調整する際分かりやすいように左右の縫い目の色を変えております。

抱っこする前に

1. リングが付いている側とは反対側の
スリング生地（テール部分）を持ち、
山折・谷折を繰り返してギャザーを作ります。
★動画もご準備しておりますのでぜひご覧ください。

2. 折りまとめたスリングのテール部分を、
2つのリングに通します。

3. ２つのリングを上下に広げ、
生地を折り返して1つのリングに
通します。



4. ２つのリングの間にある
テール部分の生地をほぐします。

5. 右端左端、左右の布の縫い目が
両端にきていることを確認しながら
テールがリングに詰まらないよう
きれいに広げます。こうすることで、
赤ちゃんを入れた後の調整がしやすくなります。

6. 準備完成です。
スリングをより快適に使うためにも、
この準備はとても大切です。

スリングからの出し方

1. 片方の手でお子さまを支えながら、
もう片方の手でリングを起こし、
スリングを緩めます。

2. お子さまを持ち上げて、
スリングから出します。
この時、スリングをリングから
完全にはずす必要はありません。

抱っこの仕方（１）対面抱っこ：
生後10 日から（かつ体重約3.2kg）～ 24 ヵ月（体重13kg）

パパ、ママの心臓の鼓動や体温を感じることができる対面抱っこ。
お子様が安心出来る環境を作り出します。

1. スリングを片方の肩にかけます。
＊４ページの" 抱っこする前に"を初めに
ご覧ください。また、背中側のスリングの
生地がねじれていないかを確認してください。

2. リングを肩の上にくるように移動させます。
(お子さまをスリングの中に入れた際、
リングは自然と下にさがります。下がった際の
理想的なリングの位置は鎖骨の上です。
もし痛みを感じる場合は上下にずらして
調整してください。）

3. 生地を広げ、お子さまが入る部分の
ポケットを作ります。
お子さまのスリングからの落下を
防ぐためにも、ポケットの下側の生地
（左図の緑色部分）は上部よりも
きつめに調整してください。

4. お子さまをしっかり支えながら肩の上に
抱き上げます。（ゲップ をさせる要領です。）
お子さまの背中部分を覆うようにスリング生地を
かぶせ、その後お子さまを座らせるように
ゆっくりと肩からスリングの中へ
お子さまを移動させます。

5. このとき、両足はスリングから出るようにします。
お子さまの脚がM字になるよう意識し、両膝が
おしりの位置よりも高くなるように調整します。
★お子様が小さい場合、スリングから両足がでない
ように抱っこする方法もあります。ただし、その場合は
必ずお子様にあぐらをかかせてください。

6. お子さまを片方の手で支えながら、
もう片方の手でテールを引いて
スリングを調整します。
★調整方法にはコツがあります。
10ページ をご参照ください。

7. 生地を広げて、お子さまの背中や肩を
包みこみます。
★お子様の首が座るまでは、スリング
の生地がお子様の頭をしっかり包む
ように十分広げてください。
★お子様の気道がしっかり確保されて
いることを常に確認してください。

8. より快適に抱っこするために
肩全体を包み込むように生地を
広げます。

9. 完成です。

10. 新生児の場合は、スリングの余った生地を
数回ねじります。

11. 新生児の首の支えとして、
ねじった部分を首の後ろに回します。

12. 完成です。
＜スリングからの出し方＞
片方の手でお子さまを支えながら、もう片方の手で
リングを起こしてスリングをゆるめ、お子さまを
持ち上げてスリングから出します。この際、
生地をリングから完全に抜き出す必要はありません。

抱っこの仕方（2）腰抱っこ：
腰がすわってから（7カ月頃）～ 36 ヵ月（体重15kg）

1. スリングを片方の肩にかけます。
＊４ページの" 抱っこする前に"を初めに
ご覧ください。また、背中側のスリングの
生地がねじれていないかを確認してください。

2. リングを肩の上にくるように移動させます。
（お子さまをスリングの中に入れた際、
リングは自然と下にさがります。下がった際の
理想的なリングの位置は鎖骨の上です。
もし痛みを感じる場合は上下にずらして
調整してください。）

3. 生地を広げ、お子さまが入る部分の
ポケットを作ります。
お子さまのスリングからの落下を
防ぐためにも、ポケットの下側の生地
（左図の緑色部分）は上部よりも
きつめに調整してください。

4. お子さまをしっかり支えながら肩の上に
抱き上げます。（ゲップ をさせる要領です。）
お子さまの背中部分を覆うようにスリング生地を
かぶせ、その後お子さまを座らせるように
ゆっくりと肩からスリングの中へ
お子さまを移動させます。

5. このとき、両足はスリングから出る
ようにします。左右の膝裏をサポートする
ように生地を広げ、お子さまの脚がM字に
なるよう意識し、両膝がおしりの位置よりも
高くなるように調整します。

6. お子さまがご使用者の腰をまたぐように
横に移動させます。ご使用者の腰骨の上
にお子さまが座るようなイメージです。
お子さまを片方の手で支えながら、
もう片方の手でテールを引いて
スリングを調整します。

対面抱っことは違い、幅広い視野を確保できる腰抱っこ。
お子様の知的好奇心を刺激することができます。

7. お子さまの脚がしっかりM字に開き、
スリングの生地が膝裏をきちんと
包めているか確認しましょう。

8. 生地を広げて、お子さまの背中を包みこみます。

9. お子さまが使用者にしっかりと密着
するように調整します。
★ 調整方法にはコツがあります。
ページ10 をご参照ください。

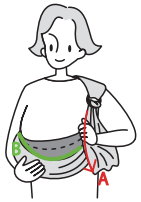
10. より快適に抱っこするために
肩全体を包み込むように生地を
広げます。

11. 完成です。
＜スリングからの出し方＞
片方の手でお子さまを支えながら、もう片方の手で
リングを起こしてスリングをゆるめ、お子さまを
持ち上げてスリングから出します。この際、
生地をリングから完全に抜き出す必要はありません。

スリングの調節の仕方

スリング生地をご確認いただくと、分かりやすいように左右の縫い目の色を変えております。

テールの外側の生地(Part A) を
引っ張ると、体に近い方の生地
(PartB) が体によります。
お子さまの足元部分を調整
する際に使用します。



テールの内側の生地(Part A) を
引っ張ると、お子さまを包み込む方の
生地(PartB) が体によります。
お子さまの背中をよせ、密着させる
際に使用します。

よりスムーズにスリングを調整するには

スリングは、テールを引く方向によっても微調整を
することができます。引っ張るテールの部分が
お子さまの入っているポーチのどの部分に繋がっているのか、
鏡などで確認しながら引くとより調整しやすくなります。

スリングを調整する際には、もう片方の手でお子さまを
しっかりと支えながら行ってください。

初めてスリングをお使いいただく方へ

スリングは親子をつなぐとてもすばらしいものですが、初めてお使いになる方の中には
難しいと感じる方もいらっしゃるかもしれません。
より快適に、安全に抱っこするためは、下記の項目に注意して正しく抱っこしましょう。

●お子さまを抱っこする前に、まずは人形で練習しましょう。
人形を使って練習することで、調整の仕方や抱っこした際のイメージなどがわかり、
実際のお子さまを抱っこした時もスムーズに抱っこできます。
●生地がねじれていないか確認しましょう。
特にご使用者の背中部分は要注意。この部分の生地がしっかり広がっている方が、
お子さまの重さが背中全体に分散されより快適に抱っこできます。
●スリングの一番下の部分（お子さまのおしり部分）はご使用者の
おへそより下にこないように調整しましょう。
お子さまの位置が下がれば下がるほど、ご使用者への負担は大きくなり、
また落下の危険性も大きくなります。
● 初めてスリングで抱っこする際は、お子さまのご機嫌がいい時に行いましょう。
お子さまの疲れがたまりやすい夜はお控えいただくことをおすすめいたします。

安全にお使いいただくために

ご使用になる前によくお読みのうえ正しくお使いください。
こちらの取扱説明書は必ず保管してください.
取り扱いを誤った場合、お子様の転落、ケガや危険につながるおそれがあります。
安全に使用していただくために、必ずお守りください。

⚠ 警告

警告 誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。

●使用月齢
対面抱っこ：生後10 日から（かつ体重約3.2kg）～ 24 ヵ月（体重13kg）
腰抱っこ　：腰がすわってから（7カ月頃）～ 36 ヵ月（体重15kg）
●使用中はお子さまを必ず手で支え、親の目で注視してください。
●お子さまが、あごが胸につく程まで丸まってしまわないようご注意ください。
鼻や口がふさがれて呼吸が出来なくなる場合がございます。
●お子さまが暴れて、使用者がバランスをくずす場合は、ご使用をお控えください。
●火気の近くで使用したり、製品を放置しないでください。
●ご使用前に、やぶれ、ほつれ、傷、破損などがないか確認してください。もし破損が見つかった場合、使用しないでください。
●ベルトやイヤリング、その他アクセサリー等の尖った物には気をつけてください。
スリングを傷つける可能性があります。
●お子さまが未熟児や障害をお持ちの場合、お使いいただく前にかかりつけのお医者さまにご相談ください。
●お子さまの抱っこ以外の用途には使用しないでください。
●使用中は、お子さまの状態に常に注意してください。
●使用中は、走ったり、跳んだり、45°以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。かがむ必要がある際は、腰からではなく膝を曲げてかがんでください。
●お子さまが立ち上がったり、反り返ったり、動いて安定しない場合は使用しないでください。
●お子さまの乗せ降ろしは安全な場所で腰を低くした姿勢で行ってください。
●抱っこ時は使用者の視界が妨げられたり、足元が見えにくくなりますので歩行時には十分に注意してください。また、階段など段差のある場所では、お子さまの上体を正面から横にずらすなど、視界を確保してください。
●スリングを使用したままスポーツする事はお控えください。
●お子さまの気道が確保されていることを常に確認してください。
危険な事例：口や鼻に生地が覆いかぶさる、お子さまのあごが胸につくなどして呼吸ができない、等。
●飛行機、車、自転車、バイクでは使用しないでください。
●お子さま、もしくはご使用者の体調が悪い場合は使用しないでください。
●スリングが緩むのを防ぐためにも、テールの余った生地をリングにしっかり巻きつけてからご使用ください。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容を示します。

●授乳後30 分間以内の使用はしないでください。
（お子さまのお腹が圧迫され、吐き戻しの原因になる可能性があります。）
●連続2 時間以上の使用はしないでください。
●お子さまが思わぬ動きをすることで体勢を崩す可能性があります。
使用中は十分注意してください。
●汗や水で湿った状態で強い摩擦を受けると、他に色移りするおそれがあります。
●廃棄する際には地方自治体の指示に従ってください。
●1 人のお子さまのみ抱っこしてください。
●お料理をしながらの使用はお控えください。
●不安定な場所など危険が予測できるでは使用しないでください。
●使用中、熱い飲み物などを飲む場合は気をつけてください。お子さまのやけどにつながる 危険性があります。
●お子さまが成長し好奇心が増すと思わぬ力で反り返ったり、抜けだそうとしたりする可能性があります。十分ご注意ください。

お手入れ方法

＜洗濯についてのご注意＞
●洗濯については製品に縫い付けの組成表示ラベルを参照ください。
●色落ちする場合がありますので、他の洗濯物とは別けて洗ってください。
●洗濯ネットに入れて洗ってください。
●軽い汚れの場合は、湿らせた布で汚れた部分をたたくようにして落としてください。
●蛍光増白剤入りの洗剤は使用しないでください。
●脱水機、乾燥機の使用はしないでください。樹脂部品が破損する恐れがあるからです。
●アイロンは、あて布を使用してください。

＜点検について＞
●ご使用前に、リング部分が破損したり、生地などに破れ、ほつれ、傷がないことを確認してください。異常がある状態で使用すると、事故につながるおそれがあります。

Lucky
SINCE 1934 JAPAN

大切な赤ちゃんが生まれて
パパ・ママがまず初めに行うこと。
それは抱きしめること。

まだ目が見えない赤ちゃんを安心させる
一番良い方法です。

赤ちゃんが大きくなってもパパ・ママに抱っこを
求めるのは、触れることが一番の安心と幸せに
つながっているからです。

今までも、そしてこれからも変わらない、
「抱きしめる」という親から赤ちゃんへの愛情。

そんな愛情がしっかり赤ちゃんに伝わるように、
ラッキー工業は抱っこひもを通して
パパ・ママのお手伝いをします。